



ROTARY:
MAKING A
DIFFERENCE

FUJIEDA ROTARY CLUB 藤枝ロータリークラブ会報



例 会：毎週水曜日 小杉苑
藤枝市青木2-35-30 TEL:054-641-3321
事務局：藤枝市青木1-11-10 TEL:054-647-2300
FAX:054-647-2040
E-mail: club1972@fujieda-rotary.org

会長:大長 昭子 副会長:島村 武慶 幹事:大塚 高弘 副幹事:玉木 潤一郎

2017-2018年度 R1テーマ

ロータリー:変化をもたらす

♪ソング…君が代・奉仕の理想
♪ソングリーダー…増田 貴行君

第2221回
通常例会/小杉苑

会長報告

大長 昭子君

だいぶ寒さも和らぎ過ぎやすくなってきましたが、今日は後戻りしてしまいました。

3月は、水と衛生月間になります。

皆さん確定申告は、済みましたでしょうか？提出期限が15日となっています。私は、1日に済ませてきました。

2月には、テーブルメイトの集まりを開催していただきありがとうございました。

目的は、親睦ですが、今回は、地区大会での宿題、①クラブの活性化②未来のロータリーについて、7月のガバナー訪問で質問された③中長期計画について話し合っていました。

この後で各リーダーさんに発表していただきます。年度内にもう一度開催していただきますのでどうぞよろしくお願いいたします。



幹事報告

大塚 高弘君

・国際ソロプチミスト藤枝 会長 松葉君代様より

皆様におかれましては益々ご清祥にてご活躍の事とお慶び申し上げます。さて、この度は私どものクラブによるチャリティーコンサート開催につきまして、ご講演賜り、心よりお礼申し上げます。

この会が成功できますよう会員一同精一杯努力致しますので何卒よろしくお願い申し上げます。

皆様のお越しを心よりお待ちしております。松葉様より、2名様分ご招待券を頂きました。ご希望の方は事務局までご連絡下さい。

出席報告

仲田 廣志君

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
30/42 71.43%	34/43 79.07%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

○石垣君 ○大杉君 ○仲田晃君 ○松田君
江崎友君 江崎晴君 落合君 島村君 菅原君
鈴木邦君 鈴木透君 柳原君

(2)メイクアップ者

松葉 隆夫君(榛南)

スマイルBOX

仲田 廣志君

・誕生祝いありがとうございます。今年でカウンターがリセットされ、またゼロ歳からのスタートです。頑張ります。 池ノ谷 敏正君

・ありがとうございます。ケガにもめげず前向きに行きます。 青島 克郎君

・夫人誕生祝いありがとうございます。献身的に世話をしてくれています。改めて大切にしないといけないなと思います。 青島 克郎君

・夫人誕生祝いありがとうございます。妻もお祝いを心待ちにしているようです。一年って早いですね。 池ノ谷 敏正君

・妻の誕生祝いありがとうございます。

土屋 秀夫君

・結婚記念、妻の誕生日のお祝いの方ありがとうございます。いつまでも一緒に居て頂ける様に努力をしていくつもりです。また色々長続きする秘訣を教えてください。よろしくお願い致します。 河森 栄介君

・結婚記念のお祝いありがとうございます。妻も出席させて頂き、ありがとうございました。43年が経ちました。 松葉 隆夫君

- ・本日3月7日が結婚記念日です。33年になりました。妻には感謝しております。結婚記念祝ありがとうございました。 山田 賀昭君
- ・本日はお招き戴きましてありがとうございます。金婚式も無事終わりましたので、このごろはケガをしないように落ち着いて行動するよう心掛けています。慌てない、慌てないと心に言い聞かせています。 小西 啓一君 静枝様
- ・結婚30年となりました。25年目の銀行式、なにも祝うことなく終わってしまいました。30年目の今年はずらからロータリーからお祝いを頂き、大変感謝しています。日頃のお礼に私からも妻へ何かプレゼントを考えます。 加茂川 誠君
- ・お祝いありがとうございます。 森下 敏顯君

スマイル累計額 112,600円

■ 次年度ガバナー補佐報告

村松 英昭君



3月3日(土)に、静岡第6分区インターシティミーティングに大塚事務局長と出席しました。「ありがとう6分区」がテーマで掛川の大日本報徳社で行われました。次年度からは、静岡第4グループとして、当クラブがホストクラブとしてインターシティミーティングを開催します。

■ テーブルメイト卓話

1. クラブの活性化

<Aグループ>

青島 彰
リーダー



夜間例会以外に家族が参加できる機会を増やしたらどうかとの意見が出ました。もうかなり前に松葉義之君の竹林においてタケノコ狩りが模様されました。家族を含めて30名以上は出席

されたと思います。春先のぼかぼか陽気のなかで参加者はのんびりと一日過ごした良い思い出があります。若いメンバーの家族が積極的に参加できる機会を増やすことが活性化に繋がることと思います。

<Bグループ>

会員の年齢と性別と職業分類の多様性

地域で活躍している(してくれる)リーダーに入会してもらう必要

男性だけという固定観念を覆す必要・・・世界では女性会員20%

クラブに多様性をもたらす会員増強(その人たちの良さが活かされるか)

インターアクターとロータリアンがうまく連携する事

ロータリアンの活動内容(やらされている→自ら楽しく参加する)

<Cグループ>

会員相互のコミュニケーションを良くする為の活動
渡辺:早朝例会のあとみんなで奉仕活動をする。
小西:同好会の活動を推進・委員会活動も活発にする。

大塚:夜間例会・外部例会を増やしマンネリ化の解消
例会テーブル席も工夫して活性化を図る。

大塚:コミュニケーションを大切に出席しやすい
クラブ内の交流が深まる例会にする

石川:コミュニケーションを取りやすい組織づくり
クラブのことは、なんでもやります。

仲田:会員旅行に行き、よりコミュニケーションを図れる

<Dグループ>

森下 敏顯
リーダー



◇会員数の維持、増強は、必要不可欠との意見がありました。

◇年齢の格差や会員の経験の差が生じてきている、クラブの継承に努めることが大切

・経験豊富な会員からの継承が重要

➢例えば過去の活動やクラブの歴史、

伝統等を後世に伝える。また、当クラブとして伝統(継承)すべき事柄を整理しておくことも重要等の意見がありました。

◎会員が一体感を持ちビジョンを共有することや例会以外の場の交流が必要

- ・例会ではなかなか話す機会が少ないため、例会以外の交流の場や行事を増やしたらどうかと意見がありました。特に会員全員でひとつのことに取り組むことが大切との意見もありました。

<F グループ>

- ・女性会員がいてくれることは重要
- ・個々の人格が大切
(人格が大切：例えば強いものに立向かい、弱いものに寄り添うことのできる人等)
- ・質を高める

2. 未来のロータリーを考える

<A グループ>

時間の関係で次回となりました。

<B グループ>

青島 鉄男
リーダー



地域でのロータリーの奉仕活動の価値が一般社会に伝わっているか

個人的な充実感のみで客観的な数字・価値で表しているか

会員の年齢層の問題として、組織が持続可能な将来が約束されているか(後継者への継承)

奉仕活動が持続可能な奉仕であるか、参加終了後もその活動が長期的に良い影響を与え続けるか

<C グループ>

大塚：温故知新を大切にしていきましょう。

先輩(ベテラン委員)からロータリー活動を学ぶため、若い会員との交流の場を増やしていく。

先輩には、45年の築いてきた藤枝ロータリーの歴史伝統をレクチャーしていただき、

若い会員の指導をお願いいたします。そこから未来のロータリーをつくっていきましょう。

<D グループ>

◎上記と同様に会員相互の交流の場を増やすことが大切

◇ボランティア活動や奉仕活動

- ・会員全員での取り組みが大切であり、小さなことでもみんなと一緒にやることに意義があるのではと意見がありました。

(人口の減少・少子高齢化から社会奉仕は、これから一層求められるのでは)

<F グループ>

河森 栄介
リーダー



- ・尊敬される団体になる事が大切
- ・各自が高い意識を持つことが大切
- ・常に相手のこと考えることが大切
(例えば、欠席する時には事務局へ連絡する(会社で社員が無断欠勤する事と同じ)
MU時お邪魔するRCへの事前連絡等の配慮等)
- ・夫人が容易に例会等に出席して頂ける環境があった方が良いのではないか
- ・会員増強について会員の選び方が昔と違ってきている為何が何でも増強という考え方は少し危険な面もある
- ・昔に比べてニコニコBOXも集まらなくなって来ているので、その辺も何かヒントがあるのかもしれない

3. 中期(3年)長期(5年)計画に向けて

<A グループ>

時間の関係で次回となりました。

<B グループ>

- ・基本事項
会員の増強 目標 45名(3年後)
50名(5年後)
- ・続けることで見えてくる組織作り

ロータリーとは「どのような団体か」ではなく
「何をしているか」

奉仕活動を長く続けることで地域の本当の
ニーズを発見していくこと

クラブの奉仕活動が地域と密着したものであれば、一緒に奉仕活動をしようという
若者が増え会員増強へ

安価なクラブ運営を徹底的に行う組織作り
(会費・寄付・委員会費用等)

奉仕活動を特化し同一地域内のロータリー
クラブと協働する・・・地域ブランド化
産学官連携のスタンス…冠講座の継続実施

地域の魅力とメンバー会員へのインター
ンシップ実施（地域企業の良さを見出して
もらう）

<C グループ>

仲田 廣志
リーダー



中・長期にむけ時代に即した事業計画をたてる。
内容としては地域に根差していく事業を企画する。
1年ごと役員が変わってしまうため 中・長期の
計画をもつ重要性があり、会員相互の全体的な
意見交換が必要であります。

<D グループ>

加茂川 誠君



◇上記 1 と同様に経験豊富な会員からのアド
バイスが大切

◎会員相互の交流の場を増やす。会員全員での
取り組みは大切

<F グループ>

・この時間内で答えを出すのは難しいので必要に
なった時改めて時間を使う必要がある

4. その他

<D グループ>

今回のテーブルメイトを通じ、ロータリーへの
思いや会員相互の親睦が深まったと思います。
大変良い機会だと思います。

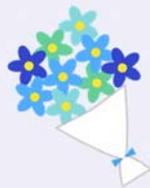
経験が浅い会員への声掛けや助言が大切だと
感じました。また、テーブルメイトの開催は、新
しい年度の早い時期に実施した方が経験の浅い
会員には良い、クラブ委員会の引継も大切との
意見がありました。

【初めて参加した者からの所感】

過去のテーブルメイトやテーブルメイトの目的、
経験豊富な会員から過去の活動内容や市内の
著名人のお話が聞けて良かったです。最後に
森下リーダーには当日の服装まで、どうしたら
よいか分からず電話を掛け、ドタバタですみま
せんでした。

Dグループのみなさん、次回は5月の連休明
け位に開催を考えますので、引き続きよろしく
お願いします。

3月のお祝い
おめでとうございます！



(担当／土屋秀君)